

BATTLEZ テイストが堪能できる スタンダードタイプ ver.C

リフトアップセット VFA
A732096C

前後の springs とダンパーをセットにした BATTLEZ テイストを味わえるスタンダードタイプ。
○前後減衰力調整式ダンパー
○ハーモフレック* はリヤのみ
○¥193,000

構造変更必要

or

リフトアップセット VFCA (車高調)
A733096C

○前後減衰力調整式ダンパー (前側車高調整機能付)
○前後ハーモフレック* 内蔵
○¥213,000

F: 約 35-40mmUP(VFA) 約 20-50mmUP(VFCA) R: 約 40-45mmUP

前: スプリング / 後: スプリング+前後ダンパー変更

※ 1 ※ 2 ※ 3

構造変更をせずに
リフトアップしたい

リフトアップせずに
乗り心地を改善したい

リフトアップせずに
前下がり姿勢を矯正したい

前下がり姿勢を補正する シンプルタイプ ver.A

リフトアップセット VFA
A732096A

リフトアップというよりフロント下がり解消しながら前後ダンパー交換によって乗り心地の改善を考慮したセット。
○前後減衰力調整式ダンパー
○ハーモフレック* はリヤのみ
○¥103,000

構造変更不要

or

リフトアップセット VFCA (車高調)
A733096A

○前後減衰力調整式ダンパー (前側車高調整機能付)
○前後ハーモフレック* 内蔵
○¥123,000

F: 約 35-40mmUP(VFA) 約 20-50mmUP(VFCA) R: -

前: スプリング+前後ダンパー変更

※ 1

構造変更不要 スマートタイプ ver.B

リフトアップセット VFA
A732096B

リヤはスプリングではなくブロックでリフトアップした構造変更不要のリフトアップセット。
○前後減衰力調整式ダンパー
○ハーモフレック* はリヤのみ
○¥123,000

構造変更不要

or

リフトアップセット VFCA (車高調)
A733096B

○前後減衰力調整式ダンパー (前側車高調整機能付)
○前後ハーモフレック* 内蔵
○¥143,000

F: 約 35-40mmUP(VFA) 約 20-50mmUP(VFCA) R: 30mmUP

前: スプリング / 後: ブロック+前後ダンパー変更

※ 1 ※ 2 ※ 3

乗り心地を改善する コンフォートタイプ

コンフォートセット VFA
A731096

突き上げの低減を目的に開発したリヤのリーフスプリングと減衰力調整式ダンパーを組み合わせた快適重視サスペンションセット。
○前後減衰力調整式ダンパー
○ハーモフレック* はリヤのみ
○¥170,000

構造変更必要

F: - R: 約 ± 5 mm

後: スプリング+前後ダンパー変更

※ 4

ダンパー VFA
B771A096

ノーマルサスペンションにも組合せ可能。
○前後 14 段減衰力調整式 ○ハーモフレック* はリヤのみ
○¥80,000

構造変更不要

減衰調整で硬さのコントロール

リフトアップスプリング Ti-W フロント
C732096F

フロント下がりの車体姿勢を補正。
○リフト量: F 約 35~40mm ○チタン配合・ヘタリ保証付
○¥26,000

構造変更不要

フロント下がり補正

リフトアップスプリング リヤ
C762096R

しなやかなセッティングによってリフトアップと突き上げ低減を両立。○リフト量: R 約 40~45mm
○¥95,000

構造変更必要

リヤのリフトアップと突き上げ低減

コンフォートスプリング リヤ
C762C096R

好評 BATTLEZ スプリングのセッティングを標準車高のまま実現。○リフト量: R 約 ± 5mm
○¥95,000

構造変更必要

快適性重視セッティング

リフトアップブロック リヤ
B786096

構造変更手続きなしにリヤのリフトアップを実現。
○リフト量: R 約 30mm
○¥24,000

構造変更不要

構造変更無でリヤのリフトアップ

※ 1. リフトアップにより直前側方視界基準 (保安基準第 44 条第 5 項) を満たさなくなる可能性があります。その場合、フロントビューカメラなどの前方視界確認機構増設が必要となります。※ 2. リヤ側のリフトアップによって後部突入防止装置 (ハイラックスの場合はリヤバンパーが該当) が基準 (高さ 550mm: 保安基準第 18 条の 2) を満たさない場合がありますが、リヤバンパー位置を 10mm ダウンまたは 30mm ダウンの 2 段階で調整できる「JAOS リヤバンパーダウンブラケット (品番: B318096 税抜価格: ¥8,000)」を別途ご用意しています。※ 3. ハイラックスには標準でバックフォグが装着されていますが、リヤ側のリフトアップによってバックフォグ (後部霧灯) に定められている保安基準 (地上 1m 以下: 保安基準第 37 条の 2) に定められた高さを越えてしまう場合があります。しかし、バックフォグは保安基準に必須の灯火装置ではないので製品に付属している補足取扱説明書の手順に従って物理的にキャンセル (取り外し) していただければ保安基準不適合の状態は解消されます。※ 4. 2020 年 8 月にマイナーチェンジされた現行モデルは、乗り心地改善のため、特にリヤのリーフセッティングが大きく変更されているのですが、そのセッティングがコンフォートスプリングと似通っている (交換のメリットを感じにくい) ので、物理的な装着はできますが適合としていません。

○表示価格はすべて税抜価格です。表示の内容は 2022 年 1 月現在のものです。